

地震、津波が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近で強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が来襲することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、直ちに高台等に避難してください。

地震発生

- 周囲の状況に応じて、慌てずに身の安全と逃げ道を確保する。

1~2分後 **安全の確認**

- 揺れがおさまったら火の元を確認し、出火している場合は初期消火をする。

3分後 **避難の準備**

- 靴を履き、ガラス片などから足を守る。
- 非常持出品を手元に用意する。

5分後 **避難の開始**

- 家族の安否を確認する。
- テレビ、ラジオなどで状況を確認する。
- 電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締める。
- 家屋倒壊などのおそれがある場合には避難する。
- 海岸にいるときに強い地震が発生した場合や、揺れを感じなくても津波警報が発表された場合には、直ちに海岸から離れ、急いで安全な場所に避難する。

10分後 **情報の入手**

- 近所の安全を確認、必要に応じて、消火・救出活動に協力する。
- 安全な場所に移動してから、正確な情報を確認する。
- 間違った情報やうわさ、デマに惑わされないように注意する。

~3日程度

- 生活必需品は備蓄でまかなう。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き地震に警戒する。

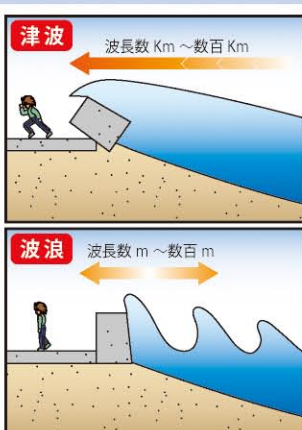
避難生活では

- 自主防災組織を中心に行動する。
- 集団生活のルールを守る。
- 助け合いの心をもって行動する。

津波の特徴と避難時の心得

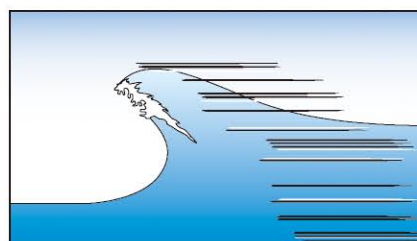
恐るべき津波の破壊力

- 普通の波(波浪)と違い、津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せ、その破壊力は凄まじいものとなります。
- 引き波も長時間にわたり引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。



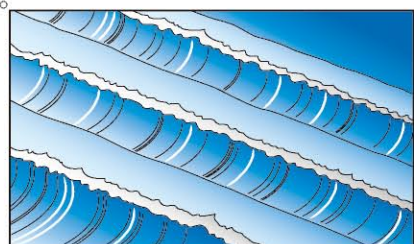
津波の速度は速い

- 津波の陸上をさかのぼるときの速さは、時速36km程度になります。これはオリンピックの短距離走者並みの速さです。
- 津波が見えてから、走って逃げることは非常に困難です。



津波は繰り返し襲ってくる

- 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。また、最初に到達する波が最も大きいとは限りません。
- 一度波が引いても、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないで下さい。



遠くへ逃げるのではなく、高い場所へ避難する

- 沿岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。
- 避難が間に合わない場合は、近くの頑丈なビルの3階以上に避難してください。高い建物がない場合は、少しでも標高の高い場所へ避難してください。

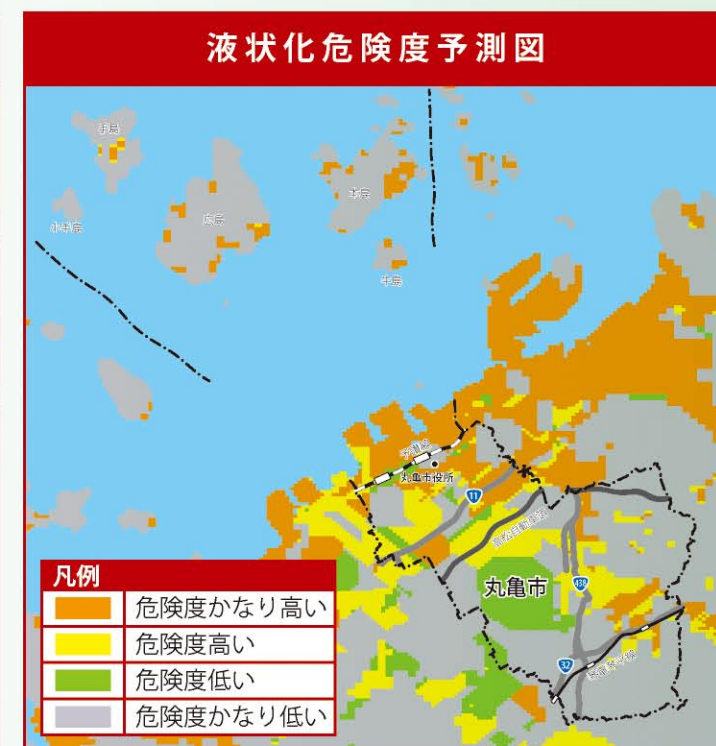
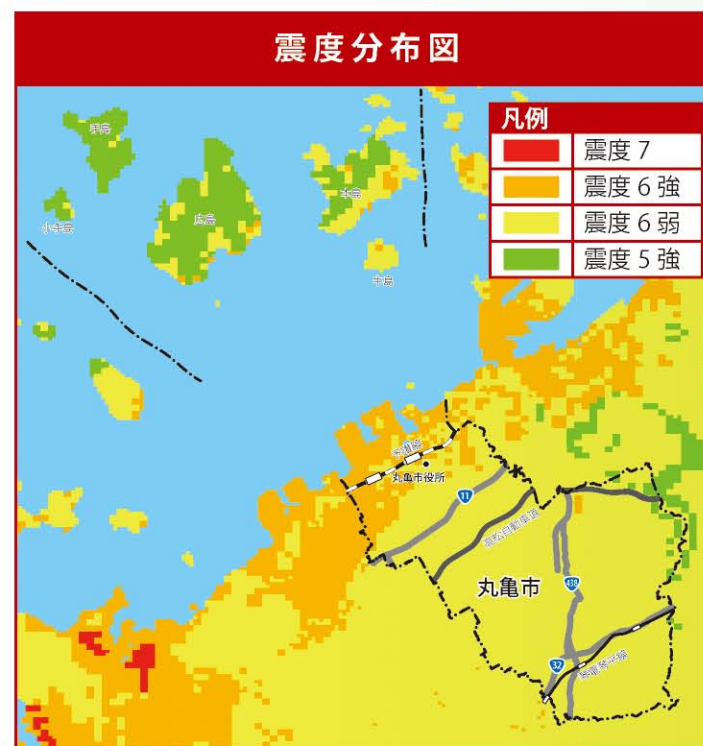


南海トラフ地震(最大クラス)

下の図は、香川県が平成25年3月に公表した、南海トラフで最大クラスの地震が発生した場合の揺れの強さと液状化の危険度を示しています。

南海トラフの最大クラスの地震は、南海トラフで千年に一度あるいはそれよりもっと低い頻度で発生しますが、発生すれば、甚大な被害をもたらす地震です。

液状化危険度は、液状化現象の発生を予測する一定の目安であり、危険度が高い地域であっても、全てが必ず液状化するというものでもありません。また、適切な液状化対策を実施すれば、被害を軽減することができます。



震度階級表

震度7	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。
震度6強	<ul style="list-style-type: none"> ● はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度6弱	<ul style="list-style-type: none"> ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度5強	<ul style="list-style-type: none"> ● ものにつかまらなると歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本で、落ちるものが増える。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

液状化危険度

液状化現象とは、地下の水の層が地表近くにあり、ゆるく堆積した砂地盤等が地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合っ、一時的に液体のようにやわらかくなることをいいます。

地震前

地震時

地震後